

試案

南北アメリカ昆虫学会コンソーシアム (CESA): 南北アメリカにおける蚊が媒介となるヒト疾患抑制を 目指す世界的取り組み

はじめに

矛盾した表現になりますが、昆虫はおそらく地球上で最も危険で、しかも有益な生物です。米国昆虫学会 (ESA) は世界最大の昆虫科学の学会として、人類の状態を改善するためのグランドチャレンジに挑む目的で、世界中の他の組織の参加・取り組みを促すためのグローバルなイニシアチブを立ち上げました。精鋭な科学者、政治家、企業グループ、非政府団体(NGO)、出資機関その他の団体を結集し、昆虫に関連した世界的なチャレンジについて持続可能な対策を実施するため、協定による協力関係を築き上げることをその目的としています。

米国昆虫学会およびブラジル昆虫学会 (Sociedade Entomológica do Brasil) は、このイニシアチブに関して、共同設立者として協力していくことに正式に同意いたしました。南北アメリカサミットは2016年3月に開催され、昆虫学会のリーダーたちがこの危機に関して討議し、西半球全体、および世界中の昆虫学者の権限を利用してこの問題を効果的に呼びかける方法を探究します。このサミットは、2016年にブラジルのMaceióで開催されるブラジルおよびラテンアメリカ昆虫学会の開催期間中に開催されます。

現在の蚊抑制状況

蚊、特に ネッタイシマカは、デング熱、黄熱、チクングニア熱などを含む多数のヒト病原体を伝播します。

抑制プログラムの実施には数十年かかるため、現在行われているコントロールの方法は断片的で持続不可能な状態です。各国/各自治体が独自の手順を開発し、リサーチは単独で行われ、そして政府のガイドラインは不均一に適用されているのが現状です。十分なプログラムが存在する場合でも、どちらかという短期の外部資金に頼っており、その資金を使い果たしてしまうと、持続可能性が極端に低下します。このような状態が存在する限り、南北アメリカでの蚊が媒介となるヒト疾患が絶えることはありません。国境を越えた持続可能ソリューションを見つけるためには協力が大変重要です。深刻さを増している公衆衛生の危機に対処するために、焦点を当てて前進する目的で、南北アメリカの昆虫学会が力を合わせていかなければなりません。

南北アメリカ昆虫学会コンソーシアム (CESA)

グランドチャレンジイニシアティブの最初の提案は、南北アメリカ昆虫学会コンソーシアム (CESA) という名称の単一共同学会を形成することで、これによって南北アメリカの昆虫学会をひとつにまとめて、西半球全体の蚊に関する管理を改善することができます。CESAは、最新の蚊管理システムの開発と研究分野での専門家を提供し、そのようなシステムを実践するために地方自治体との関係を築き上げ、そのプログラムをこれから先数十年にわたって継続していくための組織的な持続性を提供いたします。

CESAは、政府機関、非政府団体 (NGO)、企業、大学などの昆虫学者たちと協力して、世界保健機関の統合媒介動物管理のような、効果的な管理ガイドラインの実施を目指しています。これまでの数多くの研究の結果、特に蚊の監視、識別、管理テクニックのトレーニングのように、実践に関するニーズを満たすことが、蚊が媒介となる疾病を成功裡に管理するための最大の障害となっていることがわかっています。CESAはそのように重要な役割を担うことになります。

CESAの利点例:

- 地域での専門知識。ほとんどの参加者はすでに、ひとつまたは複数の全国学会あるいは地域学会に加入しています。
- 独立性。CESAは協力的な組織なため、特定の政府、企業、教育機関または組織の指示に従うことはありません。
- 統一された手順、基準、そして統合された専門知識のための、全国的学会のコミュニケーション基盤となります。
- ローカル管理。メンバーとなる各学会または参加組織が、国境内でそれぞれ独立したコントロールを持っています。
- メンバー学会やパートナーによって提供される長期的持続性。ほとんどの学会やパートナーは数十年にわたって運営されてきており、100年以上運営されているものもあります。
- インターナショナル共同サイエンスの新パラダイム。多国の国内学会を統一し、協力パートナーと共に、応用科学の重要な分野で積極的な役割を担うことができます。

CESAの機能例:

- WHOガイドラインに沿った、また各国の昆虫学者や参加パートナーによってもたらされた、蚊管理用ローカルトレーニング教材やプログラムを開発・実践します。
- 地域全体のリサーチおよび実演の開発・調整を助けるための、包括的な共同体として活躍します。

- 科学グループ、民間産業、そして資金提供者のパートナーシップを開発し、プログラムの開発と持続的実践をサポートします。
- 構成員となっている学会の広報機関を利用して地方自治体や政府機関と協力し、蚊が媒介となる疾患抑制に関する一般市民の認識を改善していきます。
- 公衆衛生昆虫学のプロフェッショナル認定プログラムをマネジメント階層にまで拡張し、最良の実践慣行を促進させます。
- 地域内の蚊監視データを保存し、プログラムの活動や成功例を記録します。
- 蚊管理に対するローカル資金提供の継続した必要性を浸透させていきます。
- 実践プロセスを管理し、必要な場合には調整していきます。

パートナーシップの好機

CESA事務局は、このコンセプトを開発・実践するためのパートナーを求めています。ご賛同いただける組織は、次までご連絡ください。

Mr. C. David Gammel
専務理事
米国昆虫学会
DGammel@entsoc.org
(+1) 301-731-4535